

競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件 名 旧北九州空港陸側進入灯跡地地下埋設物撤去工事

開 札 年 月 日 令和4年11月11日 （落札決定日 令和4年12月2日 ）

入 札 執 行 官 署 大阪航空局

落 札 金 額 ￥ 7,315,000 -

落 札 者 久一建設株式会社

予 定 価 格 ￥ 12,738,000 -

積 算 額 ￥ 12,738,000 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥ 11,580,000 -

調 査 基 準 価 格 ￥ 11,431,195 - 調 査 基 準 価 格 の 100/110 ￥ 10,391,996 -

基 準 評 価 値 863.557

低入札価格調査実施済 第1回目落札

入札参加者	評 価 点 (満点122点)	第1回入札			第2回入札			摘 要
		入札金額	評 価 値	評 価 値 ≥ 基準評価値	入札金額	評 価 値	評 価 値 ≥ 基準評価値	
久一建設株式会社	107.5	6,650,000	1616.541	○				落札
タダスエ建設株式会社		辞退						
株式会社ウエダ		辞退						

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。
 ※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）。
 ※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第3位まで表示）。
 ※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。
 ※本件は、予算決算及び会計令86条第1項の規定に基づく調査を実施し、令和4年12月2日に落札者を決定した。

低入札価格調査の実施概要（建設工事）

件 名：旧北九州空港陸側進入灯跡地地下埋設物撤去工事

発注機関名：大阪航空局

調査対象業者：久一建設株式会社

項 目	内 容
(1) その価格により入札した理由	<p>直接工事費において、既設舗装版のカッター一切断作業（直接工事費に占める価格割合1%未満）以外は下請業者を使用せず自社従業員のみで工事を行うことで労務費が軽減されていることを確認した。</p> <p>また本工事に必要な機材も全て自社の所有機材を使用することで新たに調達する必要がなく、費用が抑えられていることを確認した。</p> <p>本工事に必要な資材は単発で発注するのではなく、年度ごとに必要な数量を一括で手配することでスケールメリットが働き廉価で確保できるようにされていることを確認した。また本工事場所から約500m付近で調査対象者が受注している別件工事が施工されており、資材置場を共用することで賃借料を削減できることを確認した。なお資材置場を共用しても本工事に十分な広さが確保されていることもあわせて確認した。</p> <p>共通仮設費、現場管理費及び一般管理費については直接工事費等に調査対象者が定める割合を乗じて算出されているが、調査対象者の実行予算から必要な額が計上されていることを確認した。</p> <p>共通仮設費について、本工事は技術管理費を計上する必要がないことを確認した。また、共通仮設費に係る工程管理に関する費用、運搬費及び役務費、現場管理費に係る労務管理費及び安全訓練費、一般管理費に係る福利厚生費、事務用品費等の費用は全工事分を一括して原価管理しており、本工事に必要な分を計上しているため不足は生じないことを確認した。</p> <p>また、必要な経費を計上した上で、一般管理費の大部分が利益として見込めることをヒアリングにより確認した。</p>
(2) 契約対象工事付近における手持工事の状況	<p>配置を予定している主任技術者の手持ち工事の状況を確認したところ、現在施工中の手持ち工事は無く、本工事に配置することとしていることから、適正であると思料される。</p>

(3) 契約対象工事に関連する手持工事の状況	配置を予定している主任技術者の手持ち工事の状況を確認したところ、現在施工中の手持ち工事は無く、本工事に配置することとしていることから、適正であると思料される。
(4) 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等との地理的条件	本工事場所の近隣に調査対象者の事務所及び倉庫があるため、資機材運搬・管理面において経費の節減が可能で、緊急時の対応及び安全管理に優位性があることを確認した。
(5) 手持資材の状況	本工事で使用する標識及びプレハブ事務所について、調査対象者が所有していることを提出資料及び保管状況写真により確認した。
(6) 資材購入先及び購入先と入札者との関係	長年にわたり取引がある業者から集中して資材を調達することにより廉価で購入することが可能であることを、ヒアリング時に資材販売店の見積書により確認した。
(7) 手持機械数の状況	当該工事で使用する機械類は、手持ちの機械の活用が可能であり、損料計上が優位にあることを提出資料により確認した。
(8) 労務者の具体的供給見通し	本工事に従事する労務者は、既設舗装版のカッター切断作業以外はすべて自社従業員に従事させるとしており、雇用関係は健康保険証の写しにて確認したほか、各工種別に労務者を適切に配置する予定であることを確認した。なお、既設舗装版のカッター切断作業については協力会社である下請業者が行うこととしている。
(9) 過去に施工した公共工事名及び発注者	①日明浄化センター場内管渠改築工事（北九州市上下水道局） ②別当町他配水管布設替工事（北九州市上下水道局） 他3件
(10) 経営内容	調査対象者の経営内容は、直近の財務諸表等の報告書から、健全な経営が行われていると判断する。
(11) (1)から(10)までの事情聴取した結果についての調査検討	当該業者について、上記調査結果に基づき本契約の内容に適合した履行が為されないおそれがあるとは認められなかった。

(12) (9)の公共工事の成績状況	過去に施工した公共工事は適切に行われており、工事の品質については問題はないと判断する。	
(13) 経営状況	問題なし。	
(14) 信用状況	法令違反の有無	無
	賃金不払いの状況	無
	下請代金の支払遅延状況等	無
(15) その他の必要な事項	無	